

令和2年度 鹿児島聾学校 学校評価 保護者アンケート結果

保護者

◆ 実施期間

令和2年12月11日（金）～令和3年1月12日（火）

◆ 評価基準

4 = 十分達成 (80%以上達成) 3 = おおむね達成 (60%以上達成)

2 = やや不十分 (40%以上達成) 1 = 不十分 (40%未満達成)

◆ 評価ランク

A = 3.5以上 B = 3.0以上3.5未満 C = 2.5以上3.0未満 D = 2.5未満

◆ 回答数

幼稚部15 小学部9 中学部11 高等部11 全体46 (回答率90.2%)

評価項目	全体 回答数	評価の平均					全体	ランク
		幼稚部	小学部	中学部	高等部			
I 教育活動	1 基礎学力の定着を目指しながら、生きる力を身に付ける授業が、適切になされている。	46	3.80	3.56	2.82	3.27	3.39	B
	2 言語力、コミュニケーション能力の向上を目指した指導やかかわりが、適切になされている。	46	3.80	3.67	2.73	3.18	3.37	B
	3 望ましい生活習慣や社会性を身に付けるための指導が、適切になされている。	46	3.80	3.67	2.91	3.45	3.48	B
	4 個別の教育支援計画等について、保護者と十分に話し合われた内容を基に目標を設定し、子どもたちの成長を分かりやすく説明している。	46	3.73	3.67	3.00	3.45	3.48	B
	5 教職員の言葉遣いや態度など、教育公務員としてのマナーは適切であり、熱意をもって教育活動に当たっている。	46	3.87	3.56	2.55	3.27	3.35	B
II 教育環境	6 子どもたちが安全安心に学校生活を送ることができるための校舎内外の環境整備や保健環境の整備に努めている。	46	3.87	3.67	3.36	3.64	3.65	A
	7 教室の黒板や掲示板、廊下の掲示物等が工夫・整理され、子どもたちが情報を適切に収集するための環境が整えられている。	46	3.87	3.67	3.18	3.55	3.59	A
	8 子どもたち一人一人が、自分のもつよさや能力を安心して発揮できるような、教師と子どもたちの信頼関係が構築されている。	46	3.93	3.67	2.91	3.36	3.50	A
III 情報発信・連携	9 ホームページや各種たより、連絡帳等で、必要な情報や子どもの様子を分かりやすく伝えている。	46	3.80	3.56	3.09	3.64	3.54	A
	10 担任や学校は保護者の声に耳を傾けて、連携を取りながら、教育活動や学校運営を行っている。	46	3.80	3.67	3.27	3.36	3.54	A
IV 年間計画・行事	11 年間の計画は子ども、教職員、家庭にとって無理のない適切なものになっている。	46	3.87	3.78	3.09	3.55	3.59	A
	12 学校行事(入学式や卒業式、運動会や文化祭等)や各学部行事は、子どもにとって教育効果が高く意義あるものになっている。	45	3.93	4.00	3.20	3.45	3.67	A
	平均		3.84	3.68	3.01	3.43	3.51	A

令和2年度 鹿児島聾学校 学校評価 生徒アンケート結果

生徒

◆ 実施期間

令和2年12月11日（金）～18日（金）

◆ 評価基準

4 = とても思う (80%以上達成) 3 = やや思う (60%以上達成)
 2 = あまり思わない (40%以上達成) 1 = 全く思わない (40%未満達成)

◆ 評価ランク

A = 3.5以上 B = 3.0以上3.5未満 C = 2.5以上3.0未満 D = 2.5未満

◆ 回答数

中学部11 高等部12 全体23 (回答率100%)

評 価 項 目	中学部評価		高等部評価		全体評価	
	平均	ランク	平均	ランク	平均	ランク
1 私の学校生活は、楽しくて充実していると思う。	3.55	A	3.33	B	3.43	B
2 先生たちは、授業で分かりやすく丁寧に教えてくれると思う。	3.45	B	3.42	B	3.43	B
3 学校の施設や設備は、安全で使いやすいと思う。	3.45	B	3.50	A	3.48	B
4 先生たちは、自分の困っているときや悩みがあるときによく相談にのってくれると思う。	3.27	B	3.42	B	3.35	B
5 友達との関係は、うまくいっていると思う。	3.27	B	3.58	A	3.43	B
6 学校行事や学部行事は無理なく参加できて、充実していると思う。	3.18	B	3.33	B	3.26	B
7 私は、社会や集団の決まりを守って規則正しく生活していると思う。	3.09	B	3.33	B	3.22	B
8 私は、将来の夢の実現に向けてよく努力していると思う。	2.73	C	3.25	B	3.00	B
平均	3.25	B	3.40	B	3.33	B

令和2年度 鹿児島聾学校 学校評価 職員アンケート結果

職員

◆ 評価基準

4 = 十分達成 (80%以上達成) 3 = おおむね達成 (60%以上達成) 2 = やや不十分 (40%以上達成) 1 = 不十分 (40%未満達成)

◆ 評価ランク

A = 3.5以上 B = 3.0以上3.5未満 C = 2.5以上3.0未満 D = 2.5未満

◆ 回答数

(回答率100%)

幼稚園部13 小学部14 中学部12 高等部19 寄宿舎18 事務部10 全体86

評価項目	各評価の割合 (%)				全体評価		
	4	3	2	1	平均	ランク	
I 幼児児童生徒が健康で安心・安全に学ぶことができる環境を整える。							
1 実効的な災害訓練を行い、各危機管理マニュアルの見直しを進めたか。	21.0	68.6	10.4	0.0	3.10	B	
2 教室等は整理整頓し、言語環境としての掲示物を工夫できたか。	23.3	66.3	10.4	0.0	3.13	B	
3 外部専門家等と連携し、食に関する指導の充実を図れたか。	8.1	63.9	24.4	3.5	2.77	C	
4 人権教育、道徳教育等を通して、いじめのない学級・学校づくりを進めたか。	22.1	70.9	7.0	0.0	3.15	B	
5 保護者と連携し、虫歯等の治療や肥満の解消など健康な身体づくり・個に応じた体力づくりを進めたか。	29.1	61.7	5.8	3.5	3.16	B	
II 卒業後の自立と社会参加をめざし、確かな学力、言語力を育成する。							
1 新学習指導要領について理解し、主体的対話的で深い学びの観点から授業改善に努めたか。	13.9	65.1	16.3	4.7	2.88	C	
2 キャリア教育全体計画に基づき、卒業後の生活を想定した体験的な活動を積極的に取り入れたか。	18.6	60.5	16.3	4.7	2.93	C	
3 ICT機器について研修を深め、積極的に活用できたか。	22.1	50.0	23.3	4.7	2.90	C	
4 個別の指導計画及び教育支援計画に基づき、個々の教育的ニーズに応じた指導を行えたか。	26.7	67.5	3.5	2.3	3.19	B	
5 読書指導及び学校図書館の活用を推進できたか。	22.1	61.7	9.3	7.0	2.99	C	
III 聴覚障害教育の専門性を発揮し、地域のニーズに応じた支援や広報活動を充実させる。							
1 保護者や関係機関との連携を深め、早期教育及び一貫教育のより一層の充実に努めたか。	19.8	69.8	8.1	2.3	3.07	B	
2 通級指導教室やきこえの相談などを通して聴覚障害教育に関する地域のセンター的機能を発揮できたか。	23.3	66.3	4.7	5.8	3.07	B	
3 各広報誌の発行やホームページの積極的な更新を進め、広く県民への広報に努めたか。	30.3	51.1	12.8	5.8	3.06	B	
4 手話言語条例の制定に当たり、手話に関する知識と技能の向上に努めたか。	22.1	60.5	17.4	0.0	3.05	B	
5 聴覚障害に関する基本的事項及び最新情報に関する研修に努めたか。	16.3	68.6	15.2	0.0	3.01	B	
IV 服務規律の厳正確保に努め、業務改善を推進する。							
1 人権意識を高くもち挨拶や言葉遣いなど保護者の信頼を得られたか。	23.3	68.6	5.8	2.3	3.13	B	
2 毎週水曜日の定時退校日（1アクション）を徹底するとともに7時解錠19時施錠を推進できたか。	36.0	47.7	11.7	4.7	3.15	B	
3 協働する人間関係づくりを進め、交通ルールの遵守及びメンタルヘルスの安定を図れたか。	26.7	62.8	10.5	0.0	3.16	B	
4 保護者や学校関係者評価委員の評価を受け、具体的改善策を検討・実施できたか。	8.1	79.0	10.5	2.3	2.93	C	
5 各校務分掌で業務の簡素化・効率化に取り組めたか。	16.3	66.3	12.8	4.7	2.94	C	
					平均	3.04	B